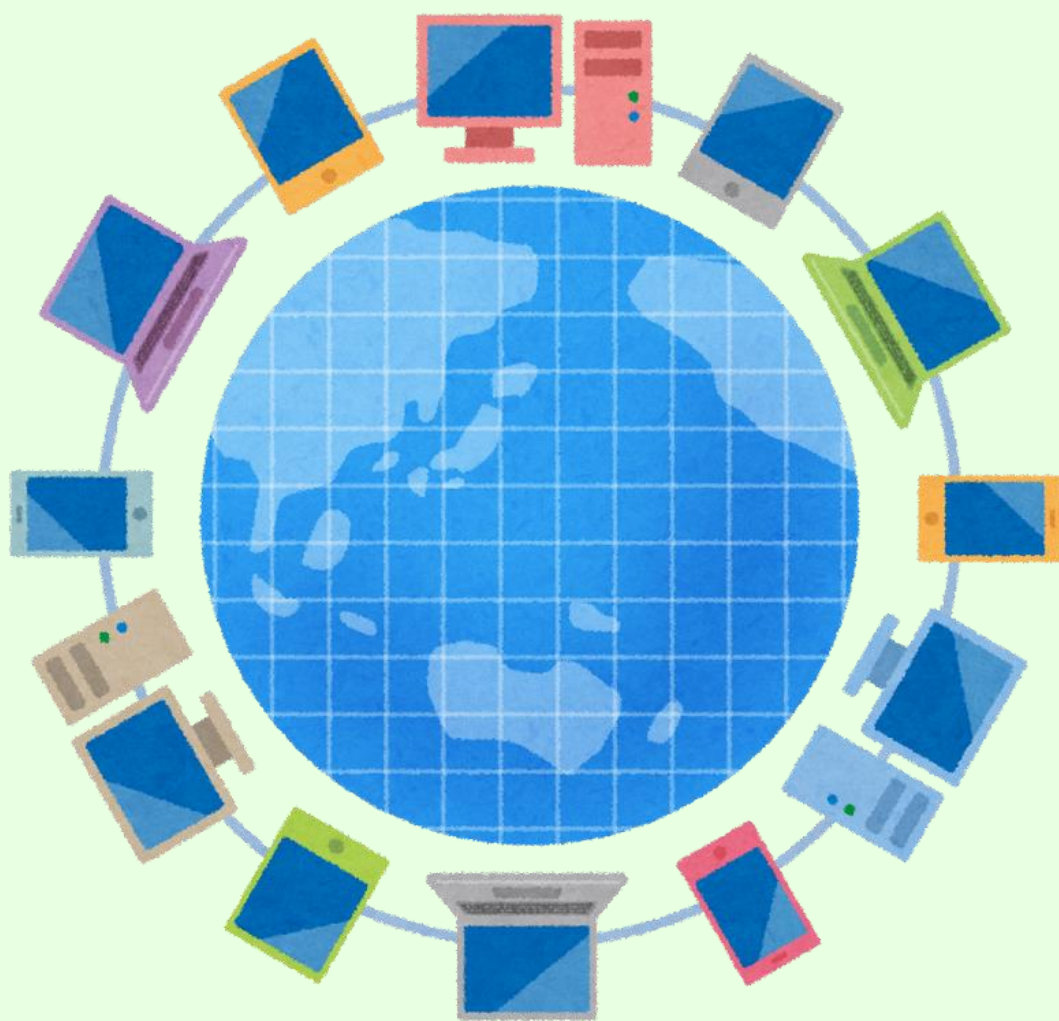


小学校道徳科の 「情報モラル指導資料集」 (展開例)



小学校第1学年 主題名：しょうじきなところで

内容項目 A-(2) 正直、誠実

教材名 「とらくんのタブレット」

ねらい タブレットを壊してしまい、素直に謝れない主人公の姿を通して、うそやごまかしをしないで
 明るい心で生活しようとする道徳的な心情を育てる。

展開例

	学習活動と発問 ○発問 ◎中心発問 ◇補助発問 [☆]: ICT活用	・予想される児童の意識	・支援及び指導上の留意点
導入 10分	1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。 ○今まで正直になれずに、うそやごまかしをしてしまったことはありますか。 【問題意識】 ・正直になれないことがあるな。	・友達の作品を勝手にいじって壊してしまったときに、「ぼくは知らない」とごまかしてしまった。	・うそやごまかしを告白する時間ではないことや告白したことでは叱るわけではないことを伝える。 クラスの状況によっては、発表させるだけにする。
	めあて 正直でいることが大切なのは、なぜだろう。		
展開 25分	2 教材文の範読を聞く。 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 ○タブレットのことを言えずに家に帰ったあと、とらくんはどのようなことを考えていたでしょう。 ◎とらくんは、なぜタブレットのことを先生に言おうと思ったのでしょうか。[☆] ◇正直に謝れたとき、とらくんはどのような思いだったでしょう。	・先生に怒られるかもしれない。 ・だれにも見られなかったから、このままだまっていよう。 ・このまま謝らずに黙っていると、ずっと嫌な思いをずっとしたから。 ・心がすっきりして、正直に謝ってよかったと思った。	・謝った方がよかったという気持ちと、タブレットを落としたところを誰も見ていなかったからごまかしたいという気持ちの葛藤を考えさせる。 ・うそやごまかしそのものがよくないということと、自分に対して正直であることの気持ちよさについても考えられるように促していく。 [ICT活用：考えの共有]
	4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える。 ○正直でいることが大切なのは、なぜでしょう。	・正直でいた方が嫌な思いをせずに、気持ちよく過ごせるから。	・学習のめあてに戻り、意見の交流を通して気付いたことや考えたことを問いかける。
終末 10分	5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。 ○今まで正直に過ごせていましたか。これからどのようにしていきたいですか。	・今までは正直になれなかったことがあったけれど、これからは、正直になって気持ちよく過ごしたい。	・授業を通して考えてきたことを自分のこれからに結び付けて振り返らせる。

評価の観点 うそをついたりごまかしたりせず、自分に対して正直でいるために、どのようなことを大切にしていこうかと考えている。

情報モラルメモ

【情報機器の扱い方】…タブレット等の情報機器を安全に使うために、児童の実態に合わせたルールづくりが必要である。

【「はばたく群馬の指導プランⅡ」ICT活用 Version: ICT活用のためのルール参考資料 PDF版(小学校)】

<https://gunma-boe.gsn.ed.jp/wysiwyg/file/download/506/2681>

小学校第2学年 主題名 正しいと思うことを

内容項目 A-(1) 善悪の判断

教材名 「新聞づくり」

ねらい 新聞係である主人公が友達の家を新聞に載せるかどうかを悩む姿を通して、よいと思ったことを進んで行うための道徳的な判断力を育てる。

展開例

	<p>学習活動と発問 ○発問 ◎中心発問 ◇補助発問 [☆]: ICT活用</p>	<p>・予想される児童の意識</p>	<p>・支援及び指導上の留意点</p>
導入 10分	<p>1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。 ○よいと思ったことをしようとして迷ったことはありますか。 【問題意識】 ・よいことだと分かっている、なかなか行動できない。</p>	<p>・教室にごみが落ちていたけれど、自分が落としたごみではないので拾わなかった。</p>	<p>・学校生活の中で、よいと思っていることでも、なかなか行動できないという問題意識をもたせるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>めあて よいと思ったことを進んですることが大切なのは どうしてだろう。</p> </div>			
展開 25分	<p>2 教材文の範読を聞く。 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 ○まさ子さんの家のことを聞いた時、しんじさんはどのようなことを考えたでしょう。 ◎しんじさんはどうして、まさ子さんの家の場所を新聞に載せるかどうか悩んだのでしょうか。[☆] ◇家の場所を載せた方がよい新聞になると思いませんか。</p>	<p>・まさ子さんやみんなに喜んでもらえる新聞にしよう。 ・家の場所を知られると、まささんが困ってしまう。 ・みんなに喜んでもらえる新聞が作りたい。 ・まささんが困ってしまうからよい新聞にはならない。</p>	<p>・しんじさんが新聞づくりに意欲的になっていることを押さえる。 ・みんなに喜んでもらえるような新聞を作ること、まささんが困ってしまうという葛藤について考えさせる。 [ICT活用: 考えの共有]</p>
	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える。 ○よいと思ったことを進んですることが大切なのは どうしてでしょう。</p>	<p>・よいか悪いかをきちんと考えて行動すると、すっきりした気持ちになるから。</p>	<p>・よいと思うことをすると、清々しい気持ちになることを確認する。</p>
終末 10分	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。 ○これまでの自分は、よいと思うことを進んでできていたか。これからどのように生活していきたいですか。</p>	<p>・これまでは、よいと思ったことでも、できないことがあった。これからは、誰かが困らないように、よいと思ったことは進んでやりたい。</p>	<p>・授業で学んだことや感じたことを基にこれからのよりよい過ごし方について振り返らせる。</p>

評価の観点 よいことと悪いことの判断をし、よいと思うことを進んで行うことのよさについて、自分自身との関わりで考えている。

情報モラルメモ

個人情報…生存する個人に関する情報で、氏名、生年月日、住所、顔写真などにより特定の個人を識別できる情報のこと。

【「個人情報保護法」をわかりやすく解説 個人情報の取扱いルールとは? : 政府広報オンライン】

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201703/1.html>

小学校第3学年 主題名：よく考えて行動するには

内容項目 Cー(11) 規則の尊重

教材名 「オンラインゲーム」

ねらい オンラインゲームのアイテムを親に伝えずに購入してしまい、後悔する主人公の姿を通して、自分自身で考えて、きまりを守り生活していこうとする道徳的な実践意欲と態度を育てる。

展開例

	<p>学習活動と発問 ○発問 ◎中心発問 ◇補助発問 [☆]：ICT活用</p>	<p>・予想される児童の意識</p>	<p>・支援及び指導上の留意点</p>
導入 10分	<p>1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。 ○きまりを守らず、後悔したことはありますか。 【問題意識】 ・きまりを守れていないことがあるな。</p>	<p>・宿題よりもゲームをしてしまって、宿題が終わらなかった。</p>	<p>・普段の生活の中で、きまりを守らずに後悔した経験を思い出させ、問題意識をもたせる。</p>
めあて よく考えて行動することが大切なのはなぜだろう。			
展開 25分	<p>2 教材文の範読を聞く。 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 ○健太さんがゲームのアイテムを手に入れたと聞いたとき、正人さんはどのようなことを考えたでしょう。 ◎請求書をじっと見つめたときの正人さんの気持ちを考えましょう。 ◇勝手にアイテムを買ったことを親に知らなければよいのでしょうか。</p>	<p>・アイテムを手に入れた。 ・みんなに自慢ができる。 ・どうして、親との約束を守らなかったのだろう。 ・親と決めた約束はきちんと守らなければいけないと思う。</p>	<p>・どうしてもアイテムがほしい正人さんの気持ちを共感的に捉えさせる。 ・正人さんが後悔している姿を取り上げ、考えを交流させる。 [ICT活用：考えの共有]</p>
	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える ○きまりを守って生活することが大切なのはなぜでしょう。</p>	<p>・きまりを守って行動しないと、自分も嫌な思いをするし、周りの人にも迷惑を掛けてしまうことがあるから。</p>	<p>・自分のやりたいことを優先させてしまう気持ちとどのように向き合うかを考えさせる。</p>
終末 10分	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。 ○これまでの自分は、きまりを守ってよく考えて生活できていましたか。これからどのように生活していきたいですか。</p>	<p>・これまでは、自分のやりたいことを優先してしまっていたので、これからは、時間を決めたり、きまりを守ったりして、よく考えて行動していきたい。</p>	<p>・授業で学んだことや感じたことを基にこれからのよりよい生活の仕方について考えさせる。</p>

評価の観点 きまりを守って生活することの大切さについて、自分自身との関わりで考えている。

情報モラルメモ

インターネットの依存性…小学生のインターネットの利用内容において「ゲームをする」が84.5%で最も高い。

【令和3年度青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）：令和4年3月 内閣府】

https://www8.cao.go.jp/youth/kankyau/internet_torikumi/tyousa/r03/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf

小学校第4学年 主題名：相手のことを考えて

内容項目 Bー(10)相互理解、寛容

教材名 「メールの返信」

ねらい メールの返信がないことに腹を立てる主人公の姿を通して、相手の立場を受け止め、相手への理解を深め、よりよい関係を築こうとする道徳的な心情を育てる。

展開例

	<p>学習活動と発問</p> <p>○発問 ◎中心発問</p> <p>◇補助発問</p> <p>[☆]：ICT活用</p>	<p>・予想される児童の意識</p>	<p>・支援及び指導上の留意点</p>
導入 10分	<p>1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。</p> <p>○友達とうまく理解し合えなかったことは、ありますか。</p> <p>【問題意識】</p> <p>・相手のことを理解しようとしていない時があるな。</p>	<p>・委員会の活動で、意見が合わずに話し合いがなかなか進まなかった。</p>	<p>・友達とぎくしゃくしたときのことなどを具体的に思い出させる。そんなとき、どうすればよかったかを考えていくことを伝え、めあてにつなげる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">めあて 相手のことを考えて行動することが大切なのは どうしてだろう。</div>			
展開 25分	<p>2 教材文の範読を聞く。</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。</p> <p>○真弓からの返信がないことに「わたし」はどのようなことを思っていたのでしょうか。</p> <p>○姉のメールに気が付いた時の「わたし」の気持ちを考えましょう。</p> <p>◎真弓に対する自分の態度について「わたし」は、どのようなことを考えたでしょう。</p> <p>◇自分が困っている時に相手のことを考えて行動できますか。</p>	<p>・早く返信してよ。</p> <p>・宿題ができないじゃない。</p> <p>・お姉ちゃんのメールに気が付かなかった。どうしよう。</p> <p>・自分のことばかり考えていないで、相手の状況を理解してあげていなかったな。</p> <p>・相手のことを考えて行動しないと人間関係が悪くなると思う。</p>	<p>・「わたし」の一方的な都合で真弓に対して腹を立てていることを押さえる。</p> <p>・児童の実態に応じ、「非対面でのやり取り」について説明する。(情報モラルメモ)</p> <p>・グループで話し合い、お互いの気持ちを理解し合い、受け入れようとする姿勢が人間関係を築く上で大切であるという考えを深める。</p> <p>[ICT活用：考えの共有]</p>
	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える。</p> <p>○相手のことを考えて行動することが大切なのは どうしてでしょう。</p>	<p>・相手のことを考えて行動しないと、よい関係を壊してしまうかもしれないから。</p>	<p>・自分の思いを丁寧に伝えて相互理解を図り、相手の行動を受け入れる寛容な心をもつことの大切さを確認する。</p>
終末 10分	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○これから、お互いが分かり合うために、どのように過ごしていきますか。</p>	<p>・自分も同じような失敗をしてしまうかもしれないので、相手の置かれた状況を理解するようにしていきたい。</p>	<p>・自分の生活を見つめ、これからの生活に生かしていきたいことについてまとめさせる。</p>

評価の観点 互いに理解し合い、よりよい関係を気付くためには、どのような気持ちが必要であるか考えている。

情報モラルメモ

メールやSNS等でのトラブル・・・インターネットを介した非対面のコミュニケーションでは、相手の状況が伝わりにくく、トラブルが生まれやすい。

【インターネットトラブル事例集 (2022年版)：総務省】

https://www.soumu.go.jp/main_content/000707803.pdf

小学校第5学年 主題名：責任ある行動とは

内容項目 A-(1) 自由と責任

教材名 「動画の投稿」

ねらい 自分勝手な考えで友達との動画を投稿してしまった主人公の姿を通して、自律的で責任のある行動をとろうとする道徳的な判断力を育てる。

展開例

	<p>学習活動と発問</p> <p>○発問 ◎中心発問</p> <p>◇補助発問</p> <p>[☆]：ICT活用</p>	<p>・予想される児童の意識</p>	<p>・支援及び指導上の留意点</p>
導入 10分	<p>1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。</p> <p>○自分の言動に責任をもっていますか。</p> <p>【問題意識】</p> <p>・自分の言動にあまり責任をもてていないな。</p>	<p>・自分の言葉で相手を傷つけてしまった。</p>	<p>・児童にこれまでの生活を振り返らせ、自分の言動に責任をもっているかということを意識させる。</p>
めあて 責任ある行動とはどのようなことだろう。			
展開 25分	<p>2 教材文の範読を聞く。</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。</p> <p>○良子さんはどのような思いで動画を投稿しようと思ったのでしょうか。</p> <p>◎動画を投稿する前に良子さんはどのようなことを考えなければならなかったのでしょうか。[☆]</p> <p>◇明美さんがよいと言ったら、動画を投稿してもよかったのでしょうか。</p>	<p>・動画を見た人から高評価が欲しかったから。</p> <p>・自分の思いだけで行動してはいけなかった。</p> <p>・動画を投稿すると、どのような影響があるかを考えるべきだった。</p> <p>・明美さんがよいと言っても、投稿することで、トラブルが起きないかなど、よく考えなければならなかった。</p>	<p>・良子さんが自分勝手な思いで動画を投稿してしまったことを押さえる。</p> <p>・良子さんが動画を投稿する前に考えるべきことについて交流させる。</p> <p>[ICT活用：考えの共有]</p> <p>・自分勝手な行動が、思わぬトラブルにつながることを押さえる。</p>
	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える。</p> <p>○責任ある行動とはどのようなことでしょうか。</p>	<p>・軽率な行動が周りに迷惑を掛けるかもしれないということを考えることだと思う。</p>	<p>・責任ある行動について、周りの人への影響や先のことを考えて行動することの大切さについて考えさせる。</p>
終末 10分	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○これから、責任ある行動をとるために、どのように過ごしていきますか。</p>	<p>・今までは、自分勝手な考えや、やりたいことを優先してしまっていたけれど、周りの人のことや先のことも考えて行動していきたい。</p>	<p>・自分の生活を見つめ、これからの生活に生かしていきたいことについてまとめさせる。</p>

評価の観点 節度のある生活の大切さや、よく考えずに行動することが自分や周囲に与える影響について考えている。

情報モラルメモ

動画の投稿…インターネットの利用内容の「撮影や制作、記録をする」という項目において、小学校高学年（12歳児）が25.5%である。約4分の1の児童がインターネットを介して、撮影や制作、記録をするという作業を行っている。

【令和3年度青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）：令和4年3月 内閣府】

https://www8.cao.go.jp/youth/kankyau/internet_torikumi/tyousa/r03/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf

小学校第6学年 主題名：権利を尊重するとは

内容項目 Cー(12) 規則の尊重

教材名 「町のキャラクター」

ねらい インターネット上のイラストを使い、無断で町のキャラクターに応募してしまった主人公の姿を通して、他人の権利を尊重しようとする道徳的な心情を育てる。

展開例

	<p>学習活動と発問 ○発問 ◎中心発問 ◇補助発問 [☆]：ICT活用</p>	<p>・予想される児童の意識</p>	<p>・支援及び指導上の留意点</p>
導入 10分	<p>1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。 ○他人が作ったものや書いたものは、どこまで使ってよいと思いますか。 【問題意識】 ・他人の権利についてあまり深く考えていなかったな。</p>	<p>・少し変えれば使っても大丈夫ではないか。 ・著作権があるから、他人が作ったものは勝手に使ってはいけない。</p>	<p>・分かってはいるがこのくらいは大丈夫だと、きまりを破ってしまったり、他の人たちだってやっているから少しくらい破っても大丈夫だろうと考えたりした経験を思い起こさせる。</p>
めあて 権利を守ることは、なぜ大切なのだろう。			
展開 30分	<p>2 教材文の範読を聞く。 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 ○「ぼく」はどのような思いでインターネットのイラストを使ったのだろう。 ◎自分が描いたイラストをじっと見つめたとき、「ぼく」はどのようなことを考えただろう。 ◇インターネットのイラストを使ったことが、誰にも知られなければよいのではないのでしょうか。</p>	<p>・イラストを描くのが苦手だから使っちゃおう。 ・楽ができそうだな。 ・人が苦勞して作ったものを大切にしなければいけないな。 ・自分のキャラクターが選ばれてしまったらどうしよう。 ・その後ずっとイラストのことを気にしながら過ごさなくてはならなし、後で知られたら、家族などに迷惑を掛けてしまうかもしれない。</p>	<p>・ここでは、自分の都合や気持ちが一番優先になり、安易に誤った決断をしてしまいやすい面があることを気付かせたい。 ・それぞれの考えが出しやすいうように最初は小グループで話し合いをさせ、その後、全体で意見交換をして、多様な考えに触れさせる。 [ICT活用：考えの共有]</p>
	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える。 ○権利を守ることはなぜ大切なのでしょう。</p>	<p>・権利を守るとは、自分や他人の努力を大切にすることだと思う。</p>	<p>・著作物は、他人の財産であることを押さえ、権利を守ることの大切さを確認する。</p>
終末 5分	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。 ○これから、権利を守るためにどのように過ごしていきますか。</p>	<p>・これからは、他人の権利を大切にすることが自分の権利を守ることに必要ということ意識して生活していきたい。</p>	<p>・法やきまりを守ることについて振り返らせ、自分自身との関わりで道徳的価値を捉えさせる。</p>

評価の観点 法やきまりは、個人や集団が安心して生活するために必要であることを考えている。

情報モラルメモ

著作権… 著作者の権利は、大きく「著作者人格権」と「著作権（財産権）」の2つで構成されている。（令和4年度著作権テキスト〔文化庁〕より一部抜粋）

【著作権制度に関する情報：文化庁】

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/index.html>